

令和4年度 第3回ルール・ガイド制度検討部会 議事録

日時： 令和5年3月27日 午後5時00分～午後5時45分

会場： 父島（村役場本庁舎2階会議室）、母島（オンライン開催 Webex）

出席： （以下敬称略）

小笠原村観光協会 原田龍次郎（部会長）

竹澤 博隆

筒井 浩俊

小笠原母島観光協会 茂木 雄二

梅野 ひろみ

小笠原ホエールウォッチング協会 工藤 志保

小笠原野生生物研究会 島田 克己

小笠原自然観察指導員連絡会 富田 浩生

小笠原自然文化研究所 佐々木 哲朗

国交省小笠原総合事務所 永井 公彦

環境省小笠原自然保護官事務所 若松 佳紀

林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター 尾山 真一

東京都小笠原支庁 寺尾 悟

事務局 小笠原村産業観光課 大津 源

小野寺 将嘉

【議事】（以下敬称略）

1. 令和4年度陸域ガイド更新登録

- ・資料1に基づき事務局から説明
質疑・意見等なく更新登録を承認

2. 令和4年度協議会活動報告（案）

- ・資料2に基づき事務局から説明
質疑・意見なし

3. 令和5年度協議会事業計画（案）

- ・資料3に基づき事務局から説明

○筒井

協議会の開催回数が年1回予定との説明だったが、今年度の協議会において、今後協議会の開催を年1回から2回にしてほしいとの意見が委員からでていた。1回になった経緯等ご説明いただきたい。

○小野寺

基本年1回の開催を想定しているが、1回しかやらないということではなく、必要に応じて2回目の開催も検討していく。

○竹澤

南島に緊急ボックスの配置を検討できないか。配置場所は扇池上がってすぐ右側のクサトベラ近辺であれば可能ではないか。南島は利用者も多い。軽症者ではなく重症者を対象とした、緊急ボックスの配置について検討をスタートできないか。

○原田

承知した。検討する。

○小野寺

まずは、ボックスの中身（用品）、管理体制、そもそも配置できるのか等、検討・確認する必要がある。

○竹澤

陸域で行っているのので、管理等は、ある程度スムーズに行くのではないかと。配置場所についてはルート外が想定されると思うので、その辺り検討課題かと思う。

○小野寺

現時点でイメージしている必要物品があれば、後ほど共有いただきたい。

○竹澤

承知した。

○島田

次年度から千尋ルートの管理が村に移管されるとのことだが、エコツーリズム協議会と連携させて作業部会を作る等、そういった動きはないのか。それとも、エコツーリズム協議会とは関係がないものなのか。

○原田

村の協議会に対する考えを整理いただきたい。

○大津

事業に関して予算付けが必要なものについては、昨年度から意見照会をしている。次年度から村が管理する千尋ルートについては、定期的な巡視を観光協会に委託し、倒木等発生の際は、別事業者による作業委託をする方向で考えている。

○小野寺

千尋ルートの作業部会を設置しないのかとのご意見について、どのような作

業・活動を想定しているものなのか、考えがあればお聞かせいただきたい。

○島田

千尋ルートの管理について、どこが先頭に立って（責任をもって）行っていくのかがわからなかったため、そこをはっきりとさせてほしかった。

○大津

千尋ルートに関しては、エコツーリズム協議会が管理するのではなく、村が責任を持って行うものである。管理を進めるに際し、検討事項等できたら、エコツーリズム協議会にも相談させていただく事もあるかもしれない。

○島田

理解した。

○佐々木

新たな課題の抽出について、次年度以降検討していないのか。課題の共有から整理しないといけないのではないか。課題に対する予算についても、直前にメールで照会かけるだけではなく、吸い上げる仕組みが必要ではないか。

○富田

千尋ルートを観光協会で巡視する予定でいるが、その中には緊急ボックスの点検も項目に入っているので、このような場で説明・報告等行ってほしい。

○筒井

先程の佐々木さんの発言でもあったが、この辺りに協議会を2回開催する理由ができたのではないか。

○大津

集まる必要があるのであれば検討したい。

○筒井

是非、そのように進めていただければと思う。

○小野寺

実施事業等検討のために、複数回議論が必要との意見は理解できるが、果たして協議会が相応しいのかどうか。例えば、このルールガイド部会の方がそのような検討がしやすいのではないか。

○佐々木

協議会と部会の連携ができていれば、部会での検討でいいかと思うが、現在、そのような体制になっていないのではないか。

○小野寺

課題抽出、事業実施・提案に向けた、検討の体制等について、一度事務局の方で整理させていただく。

以上